

## 第4学年4組 道徳科学習指導案

令和8年10月6日（火） 第5校時

- 1 主題名 親身な対応 内容項目〔B 親切、思いやり〕
- 2 ねらい いつでも親切な行動をすることの難しさに共感することを通して、相手の状況を想像することや、相手のためになる行動をすることの大切さに気づき、どんな場面であっても相手にとってよりよいと思う行動をしようとする意欲を高める。

教材名 「スーパーの店先で」（彩の国の道徳「心の絆」埼玉県教育委員会）

### 3 主題設定の理由

#### （1）ねらいや指導内容について

本主題は、学習指導要領の内容項目における、「親切、思いやり」の小学校第3学年及び第4学年の指導の観点「相手のことを思いやり、進んで親切にすること」をねらいとした内容である。「親切、思いやり」とは、相手の気持ちや状況を想像したり、相手の立場を自分に置き換えたりして、相手に対してよかれと思う気持ちを向け、行動することであり、よりよい人間関係を築くうえで求められる基本的姿勢の一つとして、重要な内容項目である。

中学年の段階においては、活動範囲が広がり、様々な人々との関わりが次第に増えていく中で、相手の気持ちを察したり、相手の気持ちをより深く理解したりすることができるようになる。一方で、他の人々の感じ方や考え方が自分たちの感じ方や考え方と同様であると思いがちになることもこの時期の特徴と言われている。指導に当たっては、相手の置かれている状況、困っていること、大変な思いをしていること、悲しい気持ちでいることなどを自分のこととして想像することによって相手のことを考え、親切な行為を自ら進んで行うことができるようにしていくことが大切である。また、目の前の困っている人だけではなく、想像力を広げて、より良いと思う行動を率先して行動することについて考えることで、人間関係の深さの違いや、意見の相違などを乗り越え、思いやりの心とそれが伴った親切な行為を児童が接する全ての人に広げていこうとする実践意欲を高めていきたい。

また、ねらいを明確にした授業を展開するために、授業づくりの際、「笠原小学校道徳科授業づくりシート」を活用し、教材研究の充実を図るとともに、道徳的価値について、児童が考えを深められるように手立てを工夫した。

#### （2）児童の実態

（略）

#### （3）教材の特質や活用方法について

本教材では、東日本大震災後という状況の中での出来事である。主人公の元気は、母親に募金を勧められるも人目を気にして募金をしなかった。その後、スーパーで被災した親戚のために水を届けたいが購入制限で困っている男性を見て、母親に頼まれて買った品物のミネラルウォーターを渡すという内容である。初めは、周囲の目が気になって行動できなかった主人公の

人間的な弱さに共感させながら、相手のために行動にうつすことができたという変容を多面的・多角的に捉えることでねらいに迫っていきたい。

そこで、主に次の場面を中心に話し合うことにする。

1 母親に募金を勧められた元気が断る場面

ここでは、よいと思う行動でも周りの目などが気になって見て見ぬふりをして行動することをためらってしまうことのある人間的な弱さに共感しながら考えることができるようにする。

2 スーパーの店員と言い合いをする男性を見かけた場面

ここでは、主人公心情の変化を中心に捉えさせたい。募金の場面では、行動に移すことができなかった元気が、実際に困っている人を目の前にしたことによって、自分ができることがないか具体的に考え、行動へつなげようとする気持ちに気づかせたい。また、迷いがあることや、ミネラルウォーターも水自体が品薄であること、母親からのおつかいとして頼まれたことであるという状況をふまえて、児童自身がどのような気持ちになるかについて、深く考えさせたい。

3 男性にミネラルウォーターを渡す場面

ここでは、主人公の行動によって目の前の男性ではなく、男性がミネラルウォーターを届ける親戚の人やその周りの避難生活を送る人など、多くの人がうれしい気持ちになることに気づかせたい。それにより、困っている人がいるから行動するだけが親切なのではなく、相手を想像して行動することも親切な行動になることに気づかせ、本時のねらいに迫っていく。

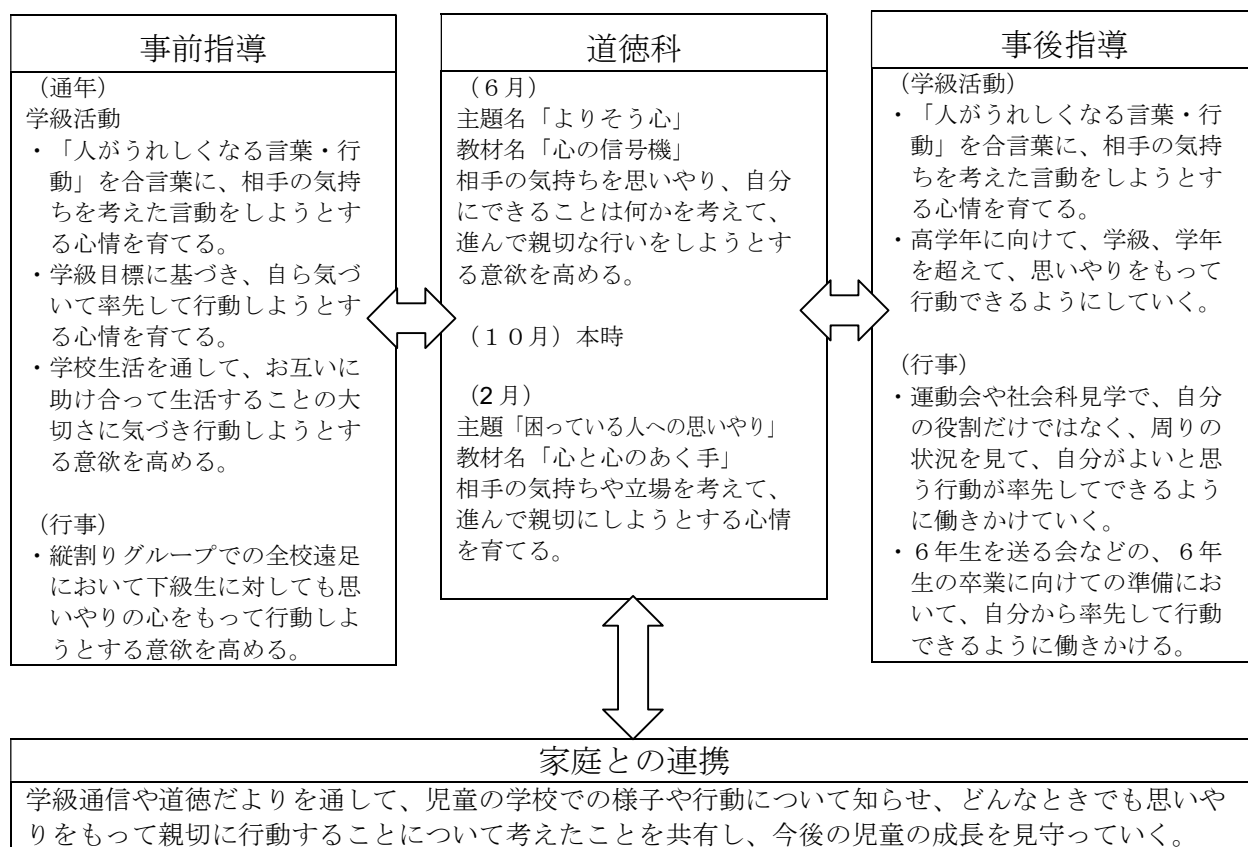
以上の理由から本主題を設定した。

4 学習指導過程

| 段階 | 学習活動、主な発問                                                                                                                                  | 予想される児童の発言                                                      | ・指導上の留意点<br>☆評価の視点                                                                 | 時間<br>(分)  |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 導入 | 1 アンケートの結果を聞き、本時の学習についての関心を高める。                                                                                                            | (略)                                                             | ・アンケート結果を全員で共有し、ねらいとする価値の方向付けをする。                                                  | 3          |
|    | 2 本時の課題を知る。<br><div>親切は誰のためにあるのだろう。</div>                                                                                                  |                                                                 | ・学習の前段階での、児童のイメージを共有し、課題の必要感をもたせる。                                                 |            |
|    | 3 教材「スーパーの店先で」の登場人物や状況を知り、範読を聞く。<br><div>【登場人物】元気、お母さん、スーパーの店員、男性<br/>【条件・状況】東日本大震災の後、被災地は物資が足りずに生活が困難であり、元気の町のスーパーでも物が品薄状態で売り切れている。</div> |                                                                 | ・千葉豪雨や地震のときの様子を想起させながら、東日本大震災の様子や教材の状況に触れ、児童に想像させる。<br><br>・主人公の気持ちを考えながら聞くように伝える。 | 5<br><br>3 |
|    | 4 課題について、考え、話し合う。<br>(1) おかあさんに「募金をしたら。」と言われたとき、元気はどんな気持ちだろうか。<br>【共感】                                                                     | ・はずかしい<br>・誰かに見られるかも<br>・募金した方がいいのかな<br>・どうしてぼくが<br>・他の人がしているから | ・募金をした方がよい思いながらも、自分がするのは恥ずかしいと思う気持ちに共感させる。                                         |            |

|    |                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                             |   |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 展開 | <p>(2) 困っている男の人を見たとき、元気はどんなことを考えたろうか。<br/>【共感】</p> <p>⑦ 自分だったら、どうしただろうか。<br/>【投影】</p> <p>⑧</p> <p>(3) なぜ元気は、男性にミネラルウォーターを渡したのだろうか。<br/>【分析】</p> <p>⑨ 親切は誰のためにあるのだろうか。<br/>【分析】</p> <p>(4) どんなことを考えれば親切をさらに広げることができるのだろうか。<br/>【深化】</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・助けたい</li> <li>・何かできることはないかな</li> <li>・お母さんに頼まれているけど</li> <li>・店員さんに言われているからしょうがない</li> <li>・周りに人がたくさんいるし</li> <li>・僕がしなくても</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目の前に困っている人がいる事によって、元気の葛藤する気持ちに気づかせる。</li> </ul>                                                                     | 7 |
|    |                                                                                                                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・おじさんが困っているから</li> <li>・ぼくはまた買えばよいから</li> <li>・避難所の人が大変だから</li> <li>・誰かの助けになりたいと思ったから</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・困っているから助けることだけが親切なのではなく、誰かのためによいと思うことをすることも親切だと気づかせる。</li> </ul>                                                    | 8 |
|    |                                                                                                                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている人</li> <li>・助けが必要な人</li> <li>・友達や家族</li> <li>・周りの人</li> <li>・地域の人</li> <li>・知らない人にでも</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気が行動を変えた理由について児童同士で交流し全体で共有する。</li> <li>・目の前の人だけではなく、想像すると多くの人のために行動することができることに気づかせる。</li> </ul>                   | 8 |
|    |                                                                                                                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の気持ち</li> <li>・困っている人がいないか</li> <li>・周りの状況をよく見る</li> <li>・恥ずかしさをなくす</li> <li>・相手のために</li> <li>・人がうれしくなる言葉、行動</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の行動について、自分事として考えられるようにする。</li> </ul> <p>☆親切な行動をするためにはどのような考えが大切かということについて、様々な側面をふまえて考えている。</p> <p>【発言・ワークシート】</p> |   |
| 終末 | <p>5 学習を振り返り、自己を見つめる。</p> <p>(5) 今日の学習を通してどんなことを考えましたか。</p>                                                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている人がいるときだけではなくて、いつでも相手のことを想像したい。</li> <li>・自分の気持ちに左右されずに、親切な行動をしていきたい。</li> <li>・誰も見ていなくても、親切な行動ができるようにしたい。</li> </ul>             | <p>☆親切な行動をするときに心がけたいことについて、自分との関わりの中で考えている。</p> <p>【発言・ワークシート】</p>                                                                                          | 8 |
|    | <p>6 教師の説話を聞く。</p>                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期以降の行動について、児童の意欲が高まるような声かけを行う。</li> </ul>                                                                         | 3 |

## 5 他の教育活動との関連



## 6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

親切な行動をするためにはどのような考えが大切かということについて、様々な側面をふまえて考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

親切な行動をするときに心がけたいことについて、自分との関わりの中で考えている。

## 7 板書計画

